

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

市民の命 暮らし守る市政へ 原発ストップ、医療介護守れ 新しい市議団で定例会迎える

松江市議会6月定例会はじまる

松江市議会6月定例会が17日に開会しました。26億6974万円の2025年度一般会計補正予算案や、条例改正

案など、合わせて51件の案件が提案されています。

補正予算26億円の中身は

補正予算の主なものは、▽市総合体育館のアリーナ改修工事に22億2411万円、▽浸水被害軽減対策として、東出雲町錦新町・意宇東周辺の対策に6700万円、黒田・比津地区の被害軽減へ比津川流域の廃止ため池の洪水調整池の活用可能性調査に1350万円、▽ばけけを活用した観光振興などMATSUEブランド確立に1億1024万円、▽学校や保育所幼稚園の給食用精米の購入費用支援

に4303万円、▽農地維持のための機械等導入支援に2467万円などです。今年度の一般会計は、今回の補正予算を加えて総額1089億282万円となります。

新しくエネルギー条例やガス局財産処分の議案

そのほか主な議案として「松江市再生可能エネルギー発電事業と地域との調和に関する条例の制定について」、市ガス事業を公募型プロポーザル方式により選定した相手方に売却する「財産の処分について」、中海スポーツパークが秋頃完成予定として運動施設や多目的グラウンドの使用料や併設施設の供用時間を定めるものなど。

中国ブロックいっせいの宣伝

県議 市議団がまちかどから訴え

日本共産党の中国ブロックいっせいの宣伝として、6月20日尾村利成、大國陽介両県議、たちばなふみ、樋野伸一、佐野みどり各市議が商店街前



で演説し「日本共産党の躍進で、大企業減税を見直して消費税を5%に減税しよう」と呼びかけました。尾村氏は、7割の国民が求めている消費税減税について「大企業・富裕層に自分の負担を求めれば財源は確保できるインボイスは廃止させよう」と訴えました。また、コメ不足と価格高騰について「農家に減反・減産を押し付けてきた自公政権による人災だ」と批判し、農家が再生産できる価格保障と所得補償が必要だと強調。核のゴミの最終処分方法が定まらないまま原発を

最大限活用する石破政権は無責任だとし「原発ゼロ、核燃料サイクルからの撤退を」と訴えました。たちばな市議は、新しい議員団で6月議会論戦していくことを報告し「松江市は高すぎる水道料を更に値上げしようとしており許されない。核のゴミの捨て場もない中松江市の島根原発が核のゴミを生み出している、原発ストップの声を上げていく。参院選で暮らしに冷たい政治、原発推進政治変えようと松江から声をあげよう」と訴えました。樋野、佐野両市議は初めての質問戦、選挙で支援戴いた皆さんの声にこたえてがんばる決意を述べました。

6月定例会の会期は7月8日までの22日間で、一般質問は6月23日から25日まで。

共産党市議団一般質問は

日本共産党松江市議団の一般質問は以下の通りです。

たちばなふみ市議が23日に会派代表質問として、①市民の暮らしを支える松江市へ、②ジェンダー平等の松江市へ、③こどもの権利尊重する学校づくりを、④歳を重ねるほど楽しい松江へ高齢者福祉について、⑤島根原発はストップを、の5項目を問いました。



たちばなふみ
市議会議員



佐野みどり
市議会議員



樋野伸一
市議会議員

25日に、樋野伸一市議は、①国民健康保険について、②「無料低額診療事業」について、③松江市の医療について、④介護施設の現状について、⑤原発問題についての5項目、佐野みどり市議が、①看護師不足について、②介護保険制度と介護の労働環境改善について、③マイナ保険証と国民健康保険証の発行停止についての3項目を問いました。詳細は次号からお伝えする予定です。

なんでも減税 だれでも減税

消費税 5%

消費増税「廃止」73%

インボイス廃止

財源はある

日本共産党